

夢の郷 つうしん

アンダンテ

「アンダンテ」は、県内8市町からの受託を受け、地域生活支援事業の中の日中一時支援事業を年間365日開設しています。利用者の皆様が、楽しく安心して過ごしていただけるように活動しています。サテライト「アンダンテ」では、地域移行、地域定着のための、相談支援を行います。

平日は、地域で単身生活をされている人が入浴サービスを使い夕食のテーブルを囲みながら憩いの場として活用します。地方紙も合わせて5紙そろった新聞を読むのも楽しみの一つです。

休日には、グループホームで暮らす仲間も集まり、多い日には40名の利用となり、とても賑やかです。朝一番の服薬支援から始まり、ラジオ体操、カフェオレのサービス、入浴、相談や会話、新聞・チラシのチェックとお買い物計画、昼食はメニューを見て少しワクワクしながら厨房を見に来られ、皆さんで談義を醸すなど、話題に事欠きません。午後からは休息や趣味のイラスト・塗り絵等、また、持参の愛読書を片手に読後感の披露、新聞のニュースから政治経済談義等思い思いの休日の余暇を楽しみます。午後2時からのティータイムには、眠気も醒めていつもと違う仲間と交流しながらの楽しく美味しいひと時を過ごします。

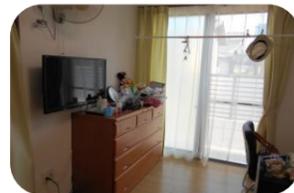
豊かな社会参加を目指しての余暇活動やピア活動を、写真でご覧ください。



グループホーム夢の郷

一体型共同生活援助事業所（グループホーム）では、まちの中で安心安全に暮らせるように、入居者一人ひとりの暮らしの支援をしています。

夢の郷には、はるか・あすか・南風荘・城山荘・朝海ハイムⅡの5つのグループホームがあります。日中活動から帰った後の安らぎの場であることを大切に支援しています。



編集後記

早咲きの河津桜も美しく、春の訪れに思わず笑顔がほころびます。少し暖かさを感じることでできる季節に夢まつりを開催できたこと、喜びを感じずにはられません。一致団結することの大切さを学ばせていただいた、大変有意義な一年となりました。

皆様、ひと雨ごとの気温の変化に気をつけてお過ごし下さい。1年間ありがとうございました。

佐野 平田 林 清水 原口

発行2017年 3月 通巻第39号 発行責任者：日野 昭義
〒514-0818 津市城山1丁目8番16号
Tel 059-238-0303 Fax 059-238-0304

<http://yumenosato.net> [mail:yumenosato@aqua.ocn.ne.jp](mailto:yumenosato@aqua.ocn.ne.jp)

基本理念：夢の郷は、障害者が安心して地域で暮らせる生活支援を行います。

- ・人権を守り主体性の尊重に努めます。
- ・地域で暮らすための環境整備に努めます。
- ・安心と安全の保障に努めます。



夢まつり2017

3月3日（金曜日）午前10時から地域との交流を目的とする「夢まつり2017」を開催しました。当日は、薄曇りの肌寒い一日でしたが地域や関係機関の多数の方々にご来場いただきました。

地域の方々や津市内の社会福祉施設等との交流・絆をより一層深めたいと考え、夢の郷駐車場で3福祉施設にゲスト出店をお願いし自慢の作品・製品を出店販売していただきました。

日常業務に追われ他施設との交流する機会が少ない中で、交流の機会を持てたことを嬉しく思いました。

建物内では各事業所が自慢の商品を利用者とともに販売しました。

朝海ハイムでは、日頃から利用者が取り組んでいる牛乳パックを再利用した菓等の紙製品、春を感じさせる「桜もちと抹茶セット」を販売しました。

クローバーハウスでは、ちょっとした贈り物としても最適なブルーベリーパイ・シフォンケーキ・菓子パン・クッキー等を販売しました。



いすず工房では、美味しい味ごはん・伊勢うどんやフランクフルト・から揚げ・たこ焼き等も販売しました。お子様向けの綿菓子・ポップコーン・ソフトドリンクも販売しました。いずれの商品も午後1時過ぎには売り切れる盛況でした。



今年が目玉公演は、津市ボランティア協会所属の「それみたかシアター」3名様によるマジックや風船による犬等づくりの多才な芸をご披露いただきました。楽しい時間をありがとうございました。



夢まつり 2017 で特筆すべき出来事は、普段控えめな職員が「豚とパンダのぬいぐるみ」を着て会場内外を盛り上げてくれたことです。小さなお子様達や来場者の方々に握手や写真を求められる嬉しい反応がありました。



ふるさと新聞、三重タイムス様に掲載していただきました。地域の方々や関係機関の皆様のご協力に、職員一同感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

夢の郷は、就労継続支援 B 型事業のいすず工房、クローバーハウスと、生活介護事業・宿泊型自立訓練事業の朝海ハイム、相談支援事業・日中一時支援事業のアンダンテ、そして共同生活事業のグループホーム等を運営しています。今回は、朝海ハイム、アンダンテ、グループホームを紹介します。

朝海ハイム(生活介護・宿泊型)事業所

朝海ハイムには、生活介護事業と宿泊型自立訓練事業があります。生活介護では、一人ひとりが生活する力をつけ、生きがいをもって地域社会の中で暮らせるように支援を行っています。宿泊型自立訓練事業では、自立した日常生活や社会生活が営めるように支援や訓練等のサービスを提供しています。

バイタルチェック、ストレッチ体操、天気の良い暖かい日には施設周辺のウォーキングをする等、楽しみながら活動しています。

園芸活動では花を育てたり、畑で野菜づくりをしています。また廃品を利用して紙すきによるはがきやしおりの製作、静物をモデルにデッサン画を描く等、折り紙・手芸・塗り絵など創作活動にも取り組んでいます。

朝海ハイムでは、このような日中活動中心の「生活介護」と、夜間の宿泊を伴った「宿泊型」の二つの事業で、利用者様が地域の中で安心して暮らしていただけることを目標としています。

お時間がありましたら、ぜひ一度お訪ねください。

牛乳パックでハガキづくり

朝海ハイムでは余暇活動のひとつとして、牛乳パックの空容器を利用して紙すきを行っています。出来上がった紙を使ってハガキ・しおり・コースターの作製に挑戦しました。初めはできた紙が薄すぎたり、厚すぎたり、表面には凹凸があり文字が書けなかったりと、改善点が多くその度に皆で意見を出し合い、今回ハガキやしおり、コースターなどの作品に仕上げました。今後もハガキだけでなく、様々な作品を製作していきます。作品は、夢まつりにも出品しました。

